

青 消 号 外
令和 8 年 7 月 2 4 日

報 道 機 関 各 位

青森県危機管理局消防保安課長
(公 印 省 略)

第 7 回緊急消防援助隊全国合同訓練「図上訓練」の開催について

標記の件について、下記のとおり図上訓練が実施されますので、取材についてよろしくお
願いします。

記

- 1 訓練目的 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における緊急消防援助隊アクションプ
ランに基づく初動対応、早期の被害状況の把握、消防・自衛隊・警察・海上
保安庁等の関係機関との活動方針の調整等を実践し、日本海溝・千島海溝周
辺海溝型地震への対応能力の向上を図る。
- 2 日 時 令和 8 年 7 月 3 0 日 (木) 0 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
※ 知事の訓練参加時間 (1 4 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0)
- 3 会 場 青森県庁北棟 2 階 (災害対策本部室)
- 4 訓練時程
0 9 : 0 0 訓練開始 (想定地震発生)
1 2 : 0 0 休憩
1 3 : 0 0 訓練再開
1 4 : 3 0 知事参加 (緊急消防援助隊 統括指揮支援隊長から知事へ活動報告)
1 6 : 0 0 訓練終了・振り返り
1 7 : 0 0 終了
- 5 取材にあたっての注意事項
(1) 取材にあたっては社名が判る腕章等の着用をお願いします。
(2) 取材可能時間 09 時 00 分から 16 時 00 分となります。
(3) 撮影可能場所については別添の県庁北棟 2 階平面図 (撮影可能場所図) にてご確認を

お願いします。

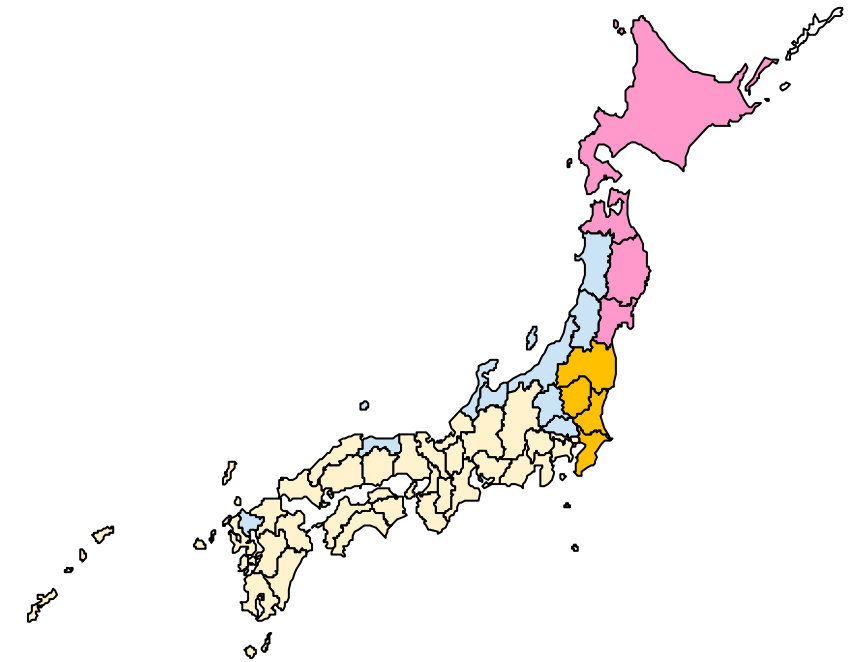
(4) 訓練中の訓練参加者に対する質疑等は、訓練進行の支障となりますので、ご遠慮願います。

(5) 災害等の発生により、訓練を中止する場合があります。

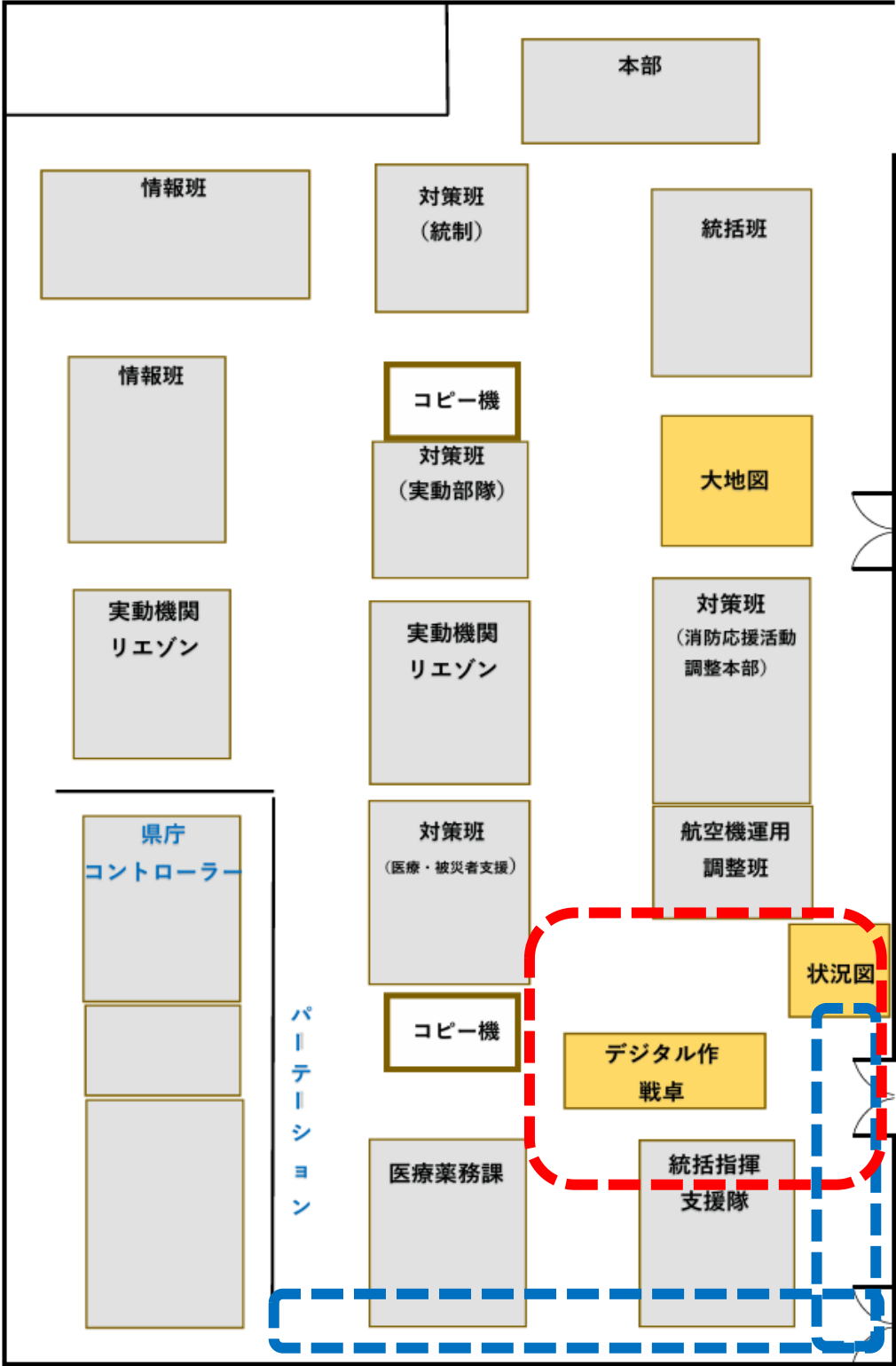
機関用提供資料	
担当課 担当者	危機管理局消防保安課 消防・予防グループ 副参事 屋崎 雪絵
電話番号	直通：０１７－７３４－９０８６
	内線：４１３１
報道監	危機管理局 次長 気田 理一郎

第 7 回緊急消防援助隊全国合同訓練（図上訓練）概要

目 的	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における緊急消防援助隊アクションプラン（以下「日本海溝・千島海溝ＡＰ」という。）に基づく初動対応、早期の被害状況の把握、消防・自衛隊・警察・海上保安庁等の関係機関との活動方針の調整等を実践し、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対応能力の向上を図る。		
日 時	令和 8 年 7 月 30 日（木） 09 時 00 分～17 時 00 分	場 所	青森県主会場 青森県庁北棟 2 階 災害対策本部室
図上訓練の 体系	北海道、青森県、岩手県、宮城県、総務省消防庁の各会場で同時一斉開催 青森県内の訓練会場 青森県庁、青森県防災航空センター、県内 5 消防本部		
訓練想定	1 月 31 日 9 時頃、岩手県沖を震源とする M 9 クラスの地震が発生し、宮城県で最大震度 6 強を観測。北海道及び東北地方の太平洋沿岸部を中心に火災、建物倒壊、津波浸水等の複合的な災害が多発したことにより、人的被害が広範囲に多数発生した想定とする。 1 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震 震源：岩手県沖（深さ 26 km、マグニチュード 9.1） 2 地震想定日時 冬：1 月 31 日 9 時 00 分 3 最大震度 北海道：5 強、青森県：6 弱、岩手県：6 弱、宮城県：6 強 4 津波 北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県に大津波警報 5 アクションプランの適用 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における「日本海溝・千島海溝ＡＰ」適用（北海道よりも東北地方に甚大な被害が見込まれる被害想定）		
参加機関 （青森県内）	・ 青森県 ・ 県内 11 消防本部 ・ 関係機関（自衛隊、青森海上保安部、青森県警察本部） ・ 統括指揮支援隊（横浜市消防局）、情報統括支援隊（横浜市消防局） ・ 指揮支援隊（堺市・北九州市消防局） ・ 航空指揮支援隊（徳島県防災航空隊） ・ 総務省消防庁		



災害対策本部室平面図（撮影可能場所図）



訓練中の撮影可能場所



知事参加時の撮影可能場所